

## 2020年4月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月4日

上場会社名 株式会社 アイホールディングス 上場取引所 東 札  
 コード番号 9627 URL <https://www.ainj.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英 TEL 011-814-1000  
 定時株主総会開催予定日 2020年7月30日 配当支払開始予定日 2020年7月31日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年7月31日  
 決算補足説明資料作成の有無：有 (決算補足資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。)  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年4月期の連結業績 (2019年5月1日～2020年4月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	292,615	6.2	16,068	0.0	16,822	1.1	9,179	1.7
2019年4月期	275,596	2.7	16,067	△18.1	16,637	△17.3	9,029	△14.6

(注) 包括利益 2020年4月期 9,030百万円 (0.8%) 2019年4月期 8,960百万円 (△13.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年4月期	259.11	—	8.5	8.8	5.5
2019年4月期	254.87	—	9.0	8.9	5.8

(参考) 持分法投資損益 2020年4月期 ー百万円 2019年4月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	193,451	111,003	57.3	3,130.77
2019年4月期	189,021	103,922	54.9	2,931.48

(参考) 自己資本 2020年4月期 110,915百万円 2019年4月期 103,855百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	17,747	△11,474	△7,837	45,931
2019年4月期	14,788	△19,985	△10,681	47,495

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年4月期	—	0.00	—	55.00	55.00	1,948	21.6	1.9
2020年4月期	—	0.00	—	55.00	55.00	1,948	21.2	1.8
2021年4月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		23.8	

### 3. 2021年4月期の連結業績予想 (2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	146,630	0.5	4,280	△48.8	4,460	△49.1	2,400	△48.1	67.74
通期	311,000	6.3	14,600	△9.1	15,000	△10.8	8,200	△10.7	231.46

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年4月期	35,428,212株	2019年4月期	35,428,212株
2020年4月期	728株	2019年4月期	728株
2020年4月期	35,427,484株	2019年4月期	35,427,497株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

（決算説明会につきまして）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）の開催を自粛いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うリスク情報 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(表示方法の変更) .....	14
(追加情報) .....	14
(連結損益計算書関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善等により、緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況となっております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、コスメ&ドラッグストア事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当連結会計年度の業績は、売上高が2,926億1千5百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は160億6千8百万円（同0.0%増）、経常利益は168億2千2百万円（同1.1%増）となり、また、親会社株主に帰属する当期純利益は91億7千9百万円（同1.7%増）となりました。

#### (ファーマシー事業)

本年4月の調剤報酬改定では、地域におけるかかりつけ機能に応じた適切な評価と対物業務から対人業務への構造的な転換を推進することを目的として評価の重点化と適正化が行われました。

当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮するべく、地域医療連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導の強化及びジェネリック医薬品の使用を促進しております。

また、厚生労働省より本年4月10日に発出された「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」の事務連絡に基づき、感染の拡大防止を目的として、調剤薬局全店で特例措置による処方箋の受け入れ準備を整え、電話等による服薬指導を行っております。

営業開発においては、大型薬局の積極的な出店とM&A基準の引き上げに加え、小規模店舗の撤退を出店戦略として見直しを行い、さらなる事業規模の拡大と店舗運営の効率化を推進しております。

当連結会計年度の売上高は、2,637億5千万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は208億5千万円（同13.7%増）と増収増益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計20店舗を出店するとともに、店舗運営の見直しにより22店舗を閉店、42店舗を事業譲渡したことで、当社グループにおける薬局総数は1,088店舗となりました。

#### (リテール事業)

コスメ&ドラッグストア事業は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、厳しい市場環境が続いております。

当社グループでは、このような環境において、コスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」の大都市圏への継続的な出店に加え、「女性が1時間楽しめるお店」をコンセプトに各店舗に応じた戦略的な売り場づくりを行うとともに、昨年10月1日にリリースした「アインズ&トルペ公式アプリ」により、ポイントカードをアプリ化し、顧客の利便性ならびにサービスの向上を図っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、多くの店舗で臨時休業、営業時間短縮を行ったこと等により、2月下旬より大幅に売上高が減少しております。

当連結会計年度の売上高は、247億1百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は2億6千2百万円（同73.0%減）と減収減益となりました。

同期間の出店状況は、アインズ&トルペ ボーノ相模大野店（神奈川県相模原市）、浅草ROX店（東京都台東区）、ペリエ千葉店（千葉県千葉市）、川崎ゼロゲート店（神奈川県川崎市）、ポールタウン2店（北海道札幌市）、柏モディ店（千葉県柏市）、栄セントラルパーク店（愛知県名古屋市中区）、大宮アルシェ店（埼玉県さいたま市）、ペリエ海浜幕張店（千葉県千葉市）、BEAUTY FACTORY 横浜ハンマーヘッド店（神奈川県横浜市）、銀座アインズ店（東京都中央区）、LINKS UMEDA店（大阪府大阪市）、博多マルイ店（福岡県福岡市）、大丸下関店（山口県下関市）、仙台PARCO2店（宮城県仙台市）の15店舗を出店し、6店舗を閉店したことで、コスメ&ドラッグストア総数は63店舗となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業における売上高は41億6千3百万円（前年同期比22.6%減）、セグメント損失は3億4千2百万円（前年同期1億6千5百万円の損失）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産の残高は、前連結会計年度末より44億2千9百万円増の1,934億5千1百万円となりました。主な要因は、現預金及びのれんが減少した一方で、商品並びに敷金保証金が増加したことによるものであります。

負債の残高は、26億5千2百万円減の824億4千7百万円となりました。

短期及び長期借入金の残高は、54億8千2百万円減となる60億7千4百万円となりました。

純資産の残高は、70億8千1百万円増の1,110億3百万円となり、自己資本比率は2.4ポイント増加となる57.3%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ15億6千4百万円減の459億3千1百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、177億4千7百万円（前年同期は147億8千8百万円の収入）となりました。

主な収入要因として、税金等調整前当期純利益が159億3千万円、新規出店及びM&Aによる規模拡大に伴い、減価償却費40億8千7百万円、のれん償却額43億5千7百万円が反映されております。

また、法人税等の支払額61億7千4百万円が主要な支出要因として反映されております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、114億7千4百万円（前年同期は199億8千5百万円の支出）となりました。

M&A 4社の株式取得に係る、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が14億4千2百万円、コスメ&ドラッグストア及び調剤薬局の新規出店等に伴い、有形固定資産の取得による支出49億1千3百万円、敷金及び保証金の差入による支出47億1千万円が反映されております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、78億3千7百万円（前年同期は106億8千1百万円の使用）となりました。

短期及び長期の借入と返済の差額が55億1千3百万円の返済となり、配当金の支払額19億4千8百万円が反映されております。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期	2020年4月期
自己資本比率 (%)	38.4	52.7	54.9	57.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	156.6	141.0	165.7	110.4
債務償還年数 (年)	1.5	0.9	0.8	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	128.0	184.5	117.8	276.8

(注) 自己資本比率

自己資本／総資産

時価ベースの株主資本比率

株式時価総額／総資産

債務償還年数

有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ

営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※ 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を利用しております。

## (4) 今後の見通し

次期につきましては、ファーマシー事業においては、引き続き調剤薬局の新規開発、M&Aを積極活用し、また、リテール事業においてもコスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」の大都市圏への継続的出店に加え、都市圏における知名度向上施策により事業規模の拡大を図ります。

新型コロナウイルス感染症の影響は、ファーマシー事業においては処方日数の長期化による処方箋枚数減少等、リテール事業においては外出自粛による消費マインドの冷え込み等が本年7月まで続く想定するとともに、インバウンドは次期会計期間中には回復しないこととして見込んでおります。

これにより、当社グループにおける通期の業績は、売上高3,110億円（前年同期比6.3%増）、経常利益150億円（同10.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益82億円（同10.7%減）となる見通しであります。

なお、新型コロナウイルス感染症については、いまだ収束のめどが立っていないことから、今後、第2波等による流行の再拡大が見られるなど状況が大きく変化し、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## (5) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うリスク情報

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ファーマシー事業においては、感染拡大防止のための外来受診抑制等による処方日数の長期化を要因として、処方箋単価は増加する一方で、処方箋枚数は減少することが考えられます。

リテール事業においては、外出自粛、店舗の臨時休業及び営業時間短縮の実施、インバウンド需要の減少等による来店客数減少の影響をすでに受けており、今後このような状況が長期化、拡大する場合は、経営成績に影響を及ぼす可能性が考えられます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,091	46,321
受取手形及び売掛金	12,771	13,653
商品	12,673	15,035
貯蔵品	225	286
短期貸付金	236	208
未収入金	8,438	8,997
その他	3,012	3,299
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	85,446	87,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,676	32,388
減価償却累計額	△15,323	△15,779
建物及び構築物 (純額)	16,352	16,609
土地	10,394	10,960
建設仮勘定	283	143
その他	11,911	10,260
減価償却累計額	△8,755	△7,098
その他 (純額)	3,155	3,161
有形固定資産合計	30,186	30,874
無形固定資産		
のれん	45,249	42,123
その他	2,327	2,792
無形固定資産合計	47,577	44,916
投資その他の資産		
投資有価証券	1,795	2,295
長期貸付金	1,351	554
繰延税金資産	4,284	4,211
退職給付に係る資産	15	111
敷金及び保証金	15,133	19,144
その他	4,853	5,168
貸倒引当金	△1,683	△1,644
投資その他の資産合計	25,751	29,841
固定資産合計	103,515	105,632
繰延資産		
株式交付費	59	15
繰延資産合計	59	15
資産合計	189,021	193,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,794	47,187
短期借入金	5,571	3,642
未払法人税等	3,261	3,356
預り金	12,737	13,094
賞与引当金	2,139	2,338
役員賞与引当金	17	16
ポイント引当金	450	463
その他	4,772	4,600
流動負債合計	73,744	74,700
固定負債		
長期借入金	5,985	2,432
リース債務	401	154
退職給付に係る負債	2,977	3,124
その他	1,989	2,035
固定負債合計	11,355	7,747
負債合計	85,099	82,447
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	21,894	21,894
資本剰余金	20,500	20,500
利益剰余金	61,526	68,758
自己株式	△2	△2
株主資本合計	103,920	111,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6	△77
退職給付に係る調整累計額	△59	△159
その他の包括利益累計額合計	△65	△236
非支配株主持分	67	88
純資産合計	103,922	111,003
負債純資産合計	189,021	193,451

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
売上高	275,596	292,615
売上原価	230,233	245,753
売上総利益	45,363	46,861
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,330	2,004
販売促進費	1,044	1,260
給料手当及び賞与	5,212	5,560
貸倒引当金繰入額	1	—
賞与引当金繰入額	584	668
役員賞与引当金繰入額	17	16
退職給付費用	195	203
ポイント引当金繰入額	449	463
法定福利及び厚生費	1,946	2,046
通信交通費	845	879
リース料	78	81
地代家賃	4,473	4,950
減価償却費	702	766
のれん償却額	4,106	4,242
租税公課	1,400	1,762
その他	5,904	5,885
販売費及び一般管理費合計	29,295	30,793
営業利益	16,067	16,068
営業外収益		
受取利息	70	55
受取配当金	39	37
投資事業組合運用益	17	10
受取手数料	38	25
不動産賃貸料	274	368
固定資産受贈益	48	48
業務受託料	158	184
技術指導料	68	64
雇用調整助成金	—	138
その他	345	292
営業外収益合計	1,061	1,226
営業外費用		
支払利息	125	63
債権売却損	71	67
不動産賃貸費用	95	134
貸倒引当金繰入額	24	—
その他	173	205
営業外費用合計	490	472
経常利益	16,637	16,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
特別利益		
固定資産売却益	38	36
投資有価証券売却益	7	—
事業譲渡益	312	496
保険解約返戻金	23	78
出資金売却益	550	—
退職給付信託設定益	—	223
その他	128	1
特別利益合計	1,061	835
特別損失		
固定資産除売却損	695	916
減損損失	766	263
投資有価証券評価損	179	218
店舗休止損失	—	97
その他	433	231
特別損失合計	2,074	1,727
税金等調整前当期純利益	15,624	15,930
法人税、住民税及び事業税	6,794	6,648
法人税等調整額	△230	81
法人税等合計	6,564	6,729
当期純利益	9,060	9,201
非支配株主に帰属する当期純利益	30	21
親会社株主に帰属する当期純利益	9,029	9,179

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益	9,060	9,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	△71
退職給付に係る調整額	△8	△99
その他の包括利益合計	△99	△170
包括利益	8,960	9,030
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,929	9,008
非支配株主に係る包括利益	30	21

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2018年5月1日 至2019年4月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,894	20,500	54,268	△1	96,662
当期変動額					
剰余金の配当			△1,771		△1,771
親会社株主に帰属する当期純利益			9,029		9,029
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	7,257	△0	7,257
当期末残高	21,894	20,500	61,526	△2	103,920

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	84	△50	34	36	96,733
当期変動額					
剰余金の配当					△1,771
親会社株主に帰属する当期純利益					9,029
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△91	△8	△99	30	△68
当期変動額合計	△91	△8	△99	30	7,188
当期末残高	△6	△59	△65	67	103,922

当連結会計年度（自2019年5月1日 至2020年4月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,894	20,500	61,526	△2	103,920
当期変動額					
剰余金の配当			△1,948		△1,948
親会社株主に帰属する当期純利益			9,179		9,179
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	7,231	—	7,231
当期末残高	21,894	20,500	68,758	△2	111,151

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△6	△59	△65	67	103,922
当期変動額					
剰余金の配当					△1,948
親会社株主に帰属する当期純利益					9,179
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△71	△99	△170	21	△149
当期変動額合計	△71	△99	△170	21	7,081
当期末残高	△77	△159	△236	88	111,003

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,624	15,930
減価償却費	3,903	4,087
のれん償却額	4,183	4,357
関係会社株式売却損益(△は益)	149	34
減損損失	766	263
出資金売却益	△550	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△155	△2
ポイント引当金の増減額(△は減少)	29	13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	186	256
事業譲渡損益(△は益)	△312	△419
退職給付信託設定損益(△は益)	—	△223
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△6	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	152	183
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△1
受取利息及び受取配当金	△109	△92
支払利息	125	63
投資事業組合運用損益(△は益)	△17	△10
固定資産受贈益	△48	△48
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
投資有価証券評価損益(△は益)	179	218
固定資産除売却損益(△は益)	656	880
売上債権の増減額(△は増加)	843	△429
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,054	△1,939
その他の資産の増減額(△は増加)	335	△1,237
未収入金の増減額(△は増加)	△407	△530
仕入債務の増減額(△は減少)	1,685	1,793
その他の負債の増減額(△は減少)	△942	745
その他	△72	—
小計	24,146	23,893
利息及び配当金の受取額	109	92
利息の支払額	△125	△64
法人税等の支払額	△9,341	△6,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,788	17,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,761	△4,913
有形固定資産の売却による収入	783	1,014
投資有価証券の取得による支出	△28	△874
投資有価証券の売却による収入	21	39
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△13,246	△1,442
貸付けによる支出	△118	△189
貸付金の回収による収入	626	939
出資金の払込による支出	△1	△0
出資金の回収による収入	850	1
無形固定資産の取得による支出	△1,228	△1,465
無形固定資産の売却による収入	15	188
敷金及び保証金の差入による支出	△4,469	△4,710
敷金及び保証金の回収による収入	808	662
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△820	△924
定期預金の払戻による収入	616	314
定期預金の預入による支出	△47	△109
その他	13	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,985	△11,474
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,599	△15
長期借入れによる収入	0	100
長期借入金の返済による支出	△6,771	△5,598
リース債務の返済による支出	△539	△375
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,771	△1,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,681	△7,837
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,878	△1,564
現金及び現金同等物の期首残高	63,233	47,495
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	140	—
現金及び現金同等物の期末残高	47,495	45,931

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「特別損失」の「その他」に含めていた「投資有価証券評価損」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別損失」の「その他」に表示していた613百万円は、「投資有価証券評価損」179百万円、「その他」433百万円として組み替えております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響は、事業によってその影響や程度が異なるものの、売上高減少等の影響がある事業については、7月まで続くと想定するとともに、インバウンドは次期会計期間中には回復しないこととして、会計上の見積りを行っております。

(連結損益計算書関係)

新型コロナウイルス感染症に対する政府・自治体からの要請を鑑み、感染拡大の配慮から、多くのコスメ&ドラッグストアを臨時休業、営業時間短縮しております。休業期間中に発生した店舗の固定費（人件費・減価償却費・家賃等）は、「店舗休止損失」として「特別損失」に計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局、ジェネリック医薬品の販売、人材紹介業及びコンサルティング業等により構成される「ファーマシー事業」、コスメ&ドラッグストアの経営等により構成される「リテール事業」を軸とし、主に不動産賃貸事業を行う「その他の事業」の3種に区分し、各事業単位で事業戦略の立案、検証を行っております。

そのため、「ファーマシー事業」、「リテール事業」及び「その他の事業」の3種を報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	245,003	25,210	5,382	275,596	—	275,596
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	126	126	△126	—
計	245,003	25,210	5,508	275,722	△126	275,596
セグメント利益又は損失(△)	18,331	972	△165	19,138	△2,500	16,637
セグメント資産	170,170	11,255	9,471	190,897	△1,875	189,021
その他の項目						
減価償却費	2,538	315	305	3,159	218	3,378
のれん償却額	4,165	—	18	4,183	—	4,183
減損損失	431	334	—	766	—	766
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,137	1,709	238	5,085	363	5,449

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,500百万円には、全社費用が4,280百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△1,787百万円、セグメント間取引消去が7百万円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額△1,875百万円は、主に親会社の管理部門に係る資産等とセグメント間取引消去の差額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	263,750	24,701	4,163	292,615	—	292,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	114	114	△114	—
計	263,750	24,701	4,277	292,729	△114	292,615
セグメント利益又は損失(△)	20,850	262	△342	20,771	△3,948	16,822
セグメント資産	173,748	12,771	11,869	198,389	△4,938	193,451
その他の項目						
減価償却費	2,676	391	279	3,347	199	3,547
のれん償却額	4,336	3	18	4,357	—	4,357
減損損失	91	172	—	263	—	263
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,688	1,488	311	5,488	337	5,825

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,948百万円には、全社費用が5,777百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△1,923百万円、セグメント間取引消去が94百万円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額△4,938百万円は、主に親会社の管理部門及びシステム物流部門に係る資産等とセグメント間取引消去の差額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

(単位：百万円)

	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	4,165	—	18	—	4,183
当期末残高	45,127	—	122	—	45,249

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

(単位：百万円)

	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	4,336	3	18	—	4,357
当期末残高	40,699	60	1,363	—	42,123

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり純資産額	2,931円48銭	3,130円77銭
1株当たり当期純利益	254円87銭	259円11銭

(注) 1. 潜在株式が存在していないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益は記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	9,029	9,179
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	9,029	9,179
期中平均株式数 (株)	35,427,497	35,427,484

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。